

令和3年2月定例会

中東遠看護専門学校組合議会会議録

令和3年2月4日開会

令和3年2月4日閉会

中東遠看護専門学校組合議会

令和3年2月中東遠看護専門学校組合議会定例会

◎議 事 日 程

令和3年2月4日（木曜日）午後3時00分開会

日程第1 議席の指定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定

日程第4 諸般の報告

日程第5 議第1号 令和2年度中東遠看護専門学校組合会計補正予算（第1号）について

議第2号 令和3年度中東遠看護専門学校組合会計予算について

議第3号 令和3年度中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計予算について

議第4号 中東遠看護専門学校組合職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について

◎出席議員（17名）

1番	寺田幹根君	2番	根津康広君
3番	松野正比呂君	4番	富田まゆみ君
5番	嶺岡慎悟君	6番	山本行男君
7番	戸塚文彦君	8番	高橋美博君
9番	森杉典子君	10番	増田雅伸君
11番	櫻井勝君	12番	渥美昌裕君
13番	山下修君	14番	織部ひとみ君
15番	西下敦基君	16番	中根信一郎君
17番	岡戸章夫君		

◎説明のため出席した者

管理者 原 田 英 之 君
袋井市長

副管理者 鈴 木 茂 君
袋井市副市長

御前崎 柳 澤 重 夫 君
市長

森町長 太 田 康 雄 君

監査委員 大 庭 通 嘉 君

事務局長 近 藤 利 男 君
兼総務課長

副校長 鈴 木 賀 奈 子 君

主 幹 松 野 容 子 君

総務課長補佐兼 荻 原 規 代 君
庶務係長

副管理者 松 井 三 郎 君
掛川市長

磐田市長 渡 部 修 君

菊川市長 長 谷 川 寛 彦 君

監査委員 鈴 木 英 司 君

会計者 鈴 木 善 之 君
管理者

校長 山 本 洋 子 君

教務課長 山 崎 伸 恵 君

主 幹 近 藤 由 美 君

庶務係 杉 森 梨 絵 君
査査

(午後 3時00分)

○事務局長（近藤利男君） 皆さん、改めましてこんにちは。

本日は、大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから、中東遠看護専門学校組合議会令和3年2月定例会を始めさせていただきます。

最初に相互の礼を行いますので、ご起立をお願いいたします。

(全員起立)

○事務局長（近藤利男君） 相互に礼。

ご着席ください。

会議に先立ちまして、掛川市市議会議員 富田まゆみ議員でございますが、所用のため遅れるとの連絡を受けておりますので、ご報告をさせていただきます。また、組合を構成いたします菊川市におきまして、組合議員の改選がございましたので、新たに当組合議会の議員になられました皆様方をご紹介させていただきます。

順に、お名前をお呼びいたしますので、恐縮ですが、その場でご起立をお願いします。

最初に、山下 修議員でございます。

○13番（山下 修君） よろしくをお願いいたします。

○事務局長（近藤利男君） 次に、織部ひとみ議員でございます。

○14番（織部ひとみ君） よろしくをお願いいたします。

○事務局長（近藤利男君） 次に、西下敦基議員でございます。

○15番（西下敦基君） よろしくをお願いいたします。

○事務局長（近藤利男君） 紹介は以上でございます。

それでは、議長よろしくをお願いいたします。

○議長（戸塚文彦君） 改めまして、皆さんこんにちは。それぞれお忙しい中ご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。

◎開会の宣告

○議長（戸塚文彦君） それではただいまより、中東遠看護専門学校組合議会令和3年2月定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 議席の指定

○議長（戸塚文彦君） 最初に、日程第1 議席の指定を議題といたします。

今回新たに組合議員になりました菊川市議会選出の山下 修議員ほか2名の議席の指定を行います。

議席は、中東遠看護専門学校組合議会会議規則第3条第2項の規定により、議長において指定いたします。

議席は、お手元に配付した議席表のとおり指定いたします。

◎日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第2 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、12番、渥美昌裕議員、13番、山下 修議員を指名いたします。

◎日程第3 会期の決定

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第3 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（戸塚文彦君） ご異議なしと認めます。

従って、会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第4 諸般の報告

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第4 諸般の報告を事務局長からいたします。

○事務局長（近藤利男君） 議長、事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） それでは、諸般の報告をいたします。

本日、中東遠看護専門学校組合議会2月定例会の開会にあたり、本組合管理者、袋井

市長提出の議第1号から議第4号までの4議案を受理いたしました。

次に、本組合議会議員の選任についてご報告申し上げます。

本組合議会、菊川市議会選出の議員3名の選任届を2月3日付けで受理いたしました。

以上、諸般の報告を終わります。

◎日程第5 議第1号から第4号までの上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（戸塚文彦君） 次に、日程第5 議第1号から議第4号までの4議案を一括議題といたします。

本組合管理者、袋井市長から上程4議案に対する提案理由の説明を求めます。

○管理者（原田英之君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） 袋井市長。

○管理者（原田英之君） 皆さん、こんにちは。本日、ここに令和3年2月中東遠看護専門学校組合議会定例会を開催するにあたりまして、議員の皆様方には大変ご多用の中、ご参集いただき、誠にありがとうございます。

皆様方には日ごろから、当組合の運営に関しましては、格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

はじめに、東海アクシス看護専門学校の近況について、簡単にご報告を申し上げます。

来月6日に卒業式を挙行いたします。新型コロナウイルス感染防止のため、卒業生とその保護者の方1名のみでの参加といたしまして、来賓の参加はご遠慮いただき、在校生には式の模様を映像で配信するなど、密を避けての開催を予定いたしております。なお、このコロナの関連で申しますと、山本校長さんには、中東遠総合医療センターの中で、目下コロナ対策に大変ご尽力をいただいておりますので、それとこの学校の校長さんを兼ねてやっていただいております。大変ありがたいことだと思っております。

今年度は、現時点におきまして、54人の卒業を予定しておりますが、そのうち3人は助産師の資格を取得するというので、進学を希望いたしております。管内5病院に54人のうち3人を除いた44人、それから県内病院に6人、県外病院に1人が就職することが内定しております。卒業後は地域医療に大きく貢献してくれるものと期待いたしております。今後におきましても、優秀な看護師を養成することによりまして、中東遠地域の医療の充実、地域医療の発展に寄与してまいりたいと存じますので、皆様方には引き続きご支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、今年度の入学試験についてでございます。昨年の10月に推薦入学試験及び社会人入学試験を行いまして、先月には一般入学試験を実施いたしました。合わせて115人の受験者がございまして、定員60人に対しまして2倍弱の競争率でございました。合格者につきましては、3つの入試を合わせまして60人定員を確保してまいりたいと存じております。それから、今月の14日には第110回看護師の国家試験が行われます。これは全員が合格しないといけないということで、教職員が一丸となってサポートしております。来月26日の合格発表を楽しみにいたしているところでございます。

それでは、ただいま提案をいたしました各議案につきまして、説明をさせていただきます。

まず、第1号議案 令和2年度中東遠看護専門学校組合会計補正予算についてでございます。今回の補正は、勸奨退職の申し出があり、その分の退職手当を計上、それとともに人事異動に伴う給料等の調整を併せて行うもので、歳入歳出の総額にそれぞれ1,000万円を追加し、歳入歳出の総額を3億5,000万円とするものでございます。

議第2号であります。令和3年度中東遠看護専門学校組合会計予算であります。予算の総額が歳入歳出それぞれ3億4,200万円で、前年度と比較して200万円の増額でございます。まず歳入ですが、構成市町の分担金が2億8,000万円、全体の8割強です。そのほかといたしましては、授業料及び入学検定料が2,318万円余、さらには退職手当基金繰入金金が3,500万円などとなっております。歳出の面では、教育費の2億8,787万円余が全体の85%近くでございまして、これが大半であります。そのほかには、財政調整基金積立金及び職員退職手当基金への積立金が合わせて2,000万円余となっております。

次に、議第3号 令和3年度中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計予算についてであります。この会計は、本校の学生を対象に、奨学金の貸与を行うものでございまして、予算の総額が歳入歳出それぞれ5,950万円であります。

議案第4号であります。中東遠看護専門学校組合職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正についてであります。本案は行政手続きの簡素化による申請負担の軽減や業務の効率化を図るため、慣例による申請書等の押印の見直しに伴い、改正を行うものでございます。

以上、各議案につきましてその概要を申し上げましたが、ご審議の上、ご可決を賜りますようお願いを申し上げます。

なお、本議会の今期いっぱいをもちまして、磐田の渡部市長、掛川の松井市長、それから私の3名は退任をいたす予定になっております。予定です。なお、幸いなことに大変優秀な柳澤御前崎市長と、それから長谷川菊川市長と、それから太田森町長さんが残られますので、これは当組合が今後より発展していくために大変有効なことだと思いますので、どうぞまたよろしくお願ひ申し上げます。私どもにつきましては、長い間ありがとうございました。以上であります。

○議長（戸塚文彦君） ここで、しばらく休憩といたします。

（午後 3時10分 休憩）

（午後 3時25分 再開）

○議長（戸塚文彦君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

これから、上程4議案に対する質疑に入りますが、議員の皆様をお願いしたいと思います。説明や報告に対する質疑につきましては、答弁者の正確を期するため、1回につき2問までとし、それ以上質問される方は、他の議員の質疑が終了した後、改めてすみませんが挙手していただいておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

それでは質疑に入ります。質疑等ございましたらよろしくお願ひします。いかがでしょうか。

○4番（富田まゆみ君） 議長。

○議長（戸塚文彦君） はい、4番、富田議員。

○4番（富田まゆみ君） すみません、本日、まず遅参しまして申し訳ございませんでした。2の15ページのところで質問をさせていただきます。報償費の中の講師謝礼、その中にスクールカウンセラー等ということで書いてあるんですが、こちらのスクールカウンセラーは、前回の会議の際に教えていただいた、通っている生徒たちの色々な心理的なサポートをしてくださる方ではないかなと思いますけれども、こちらの方は何名でどのくらいの頻度で、こちらの方でやっていただいていたのか、詳細を教えてください。

○事務局長（近藤利男君） 議長。事務局長。

○議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君）　ただいま富田議員の質問にお答えいたします。スクールカウンセラーにつきまして、今富田議員がおっしゃるとおり学生等の心理的なサポートをしていただくためのカウンセラーでございます。利用している学生につきましては・・・スクールカウンセラーが来校している日でございますけれども、月によって変わりますけれども、概ね月2回から3回来ていただいております。時間については、16時半から17時30分までの1時間を、3階の相談室で行っております。利用希望者につきましては、本校の掲示板付近に設置された予約ボックスにあらかじめ予約表を入れるか、チューター又は健康安全担当に直接申し込んだ上で利用をしております。以上、答弁とさせていただきます。

○議長（戸塚文彦君）　よろしいですか。4番、富田まゆみ議員

○4番（富田まゆみ君）　はい。ありがとうございます。4番、富田まゆみですが、今、月に2回から3回で1回あたり1時間ということだったんですが、こちらの方で充足されていたのかということと、あともう1点が、直接相談ボックスに紙を入れるとか、あと申し込みをするということだったんですが、なかなか精神的に気持ちが病んでいるというふうな状況になった時に、直接ご本人がなかなか書いたりとか声を上げるのは非常に難しいと思うんですが、例えばメールだとかLINEだとか、SNSによる受付等、そうしたお考えは今後ありますでしょうか。

○副校長（鈴木賀奈子君）　議長。副校長。

○議長（戸塚文彦君）　鈴木副校長。

○副校長（鈴木賀奈子君）　ご質問ありがとうございます。まずはじめに、学生が満足しているかということなんですけれども、システムとしては本人からの申し出と、こちらがカウンセラーに受講していいんじゃないかということで勧めるというシステムがございます。絶対的には人数的には多くはないんですけれども、毎回1人くらいのような感じなんです。ある1人の子は継続して受けさせてもらっているという経緯があります。なので、満足はされているかなとは思いますが、その子に関しては。そして紙面での申し込みのことなんですけれども、今お話しをいただいたように、メールとかLINEとかというSNSを通じながら申し込むという方法も、それもいい方法かもしれないなと今感じました。その方法につきましては、教員の方は一切タッチしないようにはしているものですから、気軽に受講できるような形は、今後も検討していきたいなと思っております。ありがとうございます。

- 議長（戸塚文彦君） どうですか。
- 4番（富田まゆみ君） はい。
- 議長（戸塚文彦君） ほかにございますか。
- 2番（根津康広君） はい。
- 議長（戸塚文彦君） はい、2番、根津議員。
- 2番（根津康広君） はい、2番、根津康広。市町の分担金負担金のところで伺いたいと思います。歳入です。歳入の7ページですね。この[2]の予算説明資料の7ページです。これ説明はあった訳ですが、下の方に案分の仕方も書いてあります。要はですね、病床数割のことでちょっと伺いたいのは、予算ですので、今コロナ病棟が病院のところでありまして、従来の500床が460とか450とかなっているところもあると思うんです。そういうものも含めて、本来病床数割というものを考えるべきじゃないかなと思っているんですが。これは今までの固定した病床数なんですが、この辺の分担金負担金ですか、その算出について、この令和3年度予算については反映しなかったのか、検討されなかったのか、その辺について伺いたいと思います。
- 議長（戸塚文彦君） はい、事務局長。
- 事務局長（近藤利男君） ただいまの根津議員の、コロナの関係で病床数が病院によってはかなり制限された中で、負担金について検討されたかというご質問でございますけれども、まずですね、こちらの病床数につきましては、本校から看護師が何人行くかどうかということだと思いますので、例えば、コロナの病床に看護師が当然配置されておりますし、一般病棟にも配置されているかと思っておりますので、特にコロナの関係でこちらの方の病床数について数を検討したかということでありまして、特に検討はしなかったということでございます。
- 議長（戸塚文彦君） はい、2番、根津議員。
- 2番（根津康広君） あの、基本的にはこの病床数割というのは、今までの固定した病床数で対応していると。でも今非常にですね、中東遠もそうですし、磐田病院もそうですし、他の病院もそうだと思いますけれども、病床数が減っている中で、ある面では分担金の負担というのが変わってくるのかなと最初思ったものですから、その辺は全く、コロナでも基本どおりで行うと、そういう認識でよろしいんですか。
- 事務局長（近藤利男君） 議長。
- 議長（戸塚文彦君） 事務局長。

○事務局長（近藤利男君） 根津議員さんがおっしゃいましたコロナの病床数については特に考慮をしておりませんで、例年どおりの病床数の考え方で分担金の方の計算をさせていただきます。以上、答弁とさせていただきます。

○議長（戸塚文彦君） 大丈夫ですか。

○2番（根津康広君） はい。

○議長（戸塚文彦君） ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、ないようでありますので、以上をもちまして議案に対する質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

これから討論に入りますが、討論を省略して直ちに採決に入りたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（戸塚文彦君） ご異議なしと認めます。

従って、直ちに採決に入ることに決定いたしました。

これから採決に入ります。議第1号から議第4号までの4議案を一括して採決いたします。

以上4議案を、原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（戸塚文彦君） ありがとうございます。

起立全員であります。

従って、議第1号から議第4号までの4議案は原案のとおり決定されました。

◎閉会の宣告

○議長（戸塚文彦君） 以上をもちまして、今期定例会に付議されました事件は、全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の会議を閉じ、中東遠看護専門学校組合議会令和3年2月定例会を閉会いたします。

（午後 3時37分 閉会）